

視点

診療報酬改定と 歳出改革の両立

骨太の方針2025では、社会保障関係費について医療・介護業界の主張が反映され、高齢化による増加分に経済・物価動向等を踏まえた対応の増加分を加算する足し算になったことで、相応の報酬改定率への期待が高まっている。物価上昇局面では、税収増も期待できるが、歳出も年金の物価スライド等に加え、名目金利の上昇で国債の利払費も増加する。金利が1%上昇すれば足元の10・5兆円から9年後には8・7兆円の増加が見込まれている。従来、日銀が国債の6割弱を買い支えてきた

が、今後買入の縮小が進むなか、国内銀行や海外投資家に国債を買ってもらうには、財政に対する市場の信認が一層重要になる。骨太の方針2024で示された歳出改革努力を27年度まで継続すること、改革工程に基づく徹底した歳出改革を進めること、25年度から26年度を通じて可能な限り早期のPB黒字化を目指すこと等も明記され、歳出改革の手綱が緩むことはなさそうだ。こうした財政状況下、選挙向けに各政党が給付金や減税を競い合っているが、物価上昇が継続したら毎年こんなこ

とを続けるつもりだろうか。経済・物価動向等を踏まえた診療報酬等の改定と歳出改革を両立させるには、予算編成に向け、社会保障費の深堀りは避けられないだろう。改定財源を確保するため、自・公・維の合意を踏まえ、骨太の方針に書き込まれたOTC類似薬の保険給付のあり方の見直し、新たな地域医療構想に向けた病床削減、現役世代に偏りがちな構造見直しによる応能負担の徹底等のほか、生活習慣病関連項目等病診の配分見直し等も検討の必要があるのではないか。

社会保険旬報

目次

No.2969 2025年7月11日

視点

診療報酬改定と
歳出改革の両立 3

座標

〆病、院でなく、〆健、院へ転換を
6年度の国年保険料最終納付率80%超 ... 4
日看協が賃金調査の結果を公表
令和5年病院耐震改修状況の調査結果 5

動向

外来医療からリハ、入退院支援、食事、
働き方までを議論
一中医協・入院医療等分科会 6

論評

タスクシフトによる医師の労働時間短縮と
生産性向上の検証
荒井 耕 10

レコーダ

日本医師会が代議員会開く
「骨太の方針」の書きぶりを評価
補正予算や改定の財源確保が重要 18

ジュネーヴからの便り②③

電子投票
中谷祐貴子 22

潮流

来年度薬価改定に向けた議論開始 23
医療事故調等医療安全検討会が初会合 .. 24
特定機能病院検討会がとりまとめ 26
有料老人ホーム検討会が議論を整理 28
全日病の新会長に神野正博氏を選出 30
日看協の秋山智弥会長が抱負 31
中医協総会が医療提供体制全体を議論 .. 32

NEWS

国保中央会が総会開く ほか 33

資料

医療提供体制等について
「医療提供施設の状況（病院・診療所）」
..... 39

雇用・労働の動き 41

編集室・ワードカプセル 42